

神樹の会会報

No. 12

昭和 62 年 9 月 1 日

発行所: 神樹の会
発行人: 牧野一夫

本部事務所 (六甲作業所内)

〒657 神戸市灘区備後町 3 丁目 2 番 22 号

☎ 821-1533

六甲作業所、東部生活訓練所

〒657 神戸市灘区備後町 3 丁目 2 番 22 号

☎ 821-1533

垂水作業所

〒655 神戸市垂水区星陵台 4 丁目 4 番 45 号

☎ 782-9675

福祉の店 “いたやど”

〒654 神戸市須磨区大黒町 2 丁目 2-12

☎ 733-2477



GO!! '87 さらに一步

きれど
道はけわしく

保障と、デイ・サービス、バザー活動の三点が重点目標としてとりあげられた。そもそも神樹の会が結成された目的は、障害の重度・軽度をとわず、すべての障害者に安定した生活の場を得させようというところにあった。そのためには何よりも先ず社会福祉法人による施設をつくることである。そのため当時の会員の努力で六甲・垂水の両作業所が設立され、更に神樹の会も情性に流れるこども閉鎖的で依存性におちいり易いも

本年度の総会に於て、進路

補助金交付要綱によれば実施主体は社会福祉法人であること。また対象者は週一日以上通所を目途に年に四十日以上利用するものとして、事業は年間二百日以上を実施するとの規定がある。さいわいにして本年度の卒業生の進路については、愛生園などのご協力で進路の保障は得られるが、次年度以降の受入れ体制をととのえねばならない。東部生活訓練部の拡充や、ワークホーム明友との連携等、行政と一体になってその実現に努力していきたい。

自明のことではあるが、神樹の会の活動の根源は会員の積極的な協力と熱意によるバザー活動によるものである。バザーも本年で十六回目をむかえることになるが、神樹の会本来の運営と新規事業推進のため例年以上の活動をお願いする次第である。

重占田目標の達成をめざして

神樹の会では、去る六月二十八日(日)勤労会館において神戸市民生局障害福祉室育成課長武衛氏をはじめ、各区の市会議員の方々など十名の来賓をお招きし第十六回目の総会をもつた。今回は、親たちに加え卒業生も参加し活発な意見の交換があつた。又昭和六十二年度重点目標が三項目挙げられ充実した時をもつことができた。

生し、そして本年四月には待望の社会福祉法人神戸明輪会によるワークホーム明友が建設されたのである。

重度反応障害者のために

三大目標

1. 身体障害児(者)の進路保障
2. デイ・ケアサービスの早期実現
3. バザー活動の発展と充実

しかし今なお在宅する方々を含め年々卒業する障害者は、年と共に重度化し授産所や作業所に行くことが不可能になつた。そのためデイ・サービス事業がとりあげられるよう

Aさんからだされた。まだ結婚していない二十代、三十代の肢体不自由者の悩みが浮きぼりに

されるのである。今後このことについては話あわねばならないが、「結婚問題だけではなく心の問題や障害者の性問題など、すべてを含め相談できるところがあればいい。必要があれば専門家のカウンセラーにお願いしたい」等の意見が

Aさんからだされた。まだ結婚していない二十代、三十代の肢体不自由者の悩みが浮きぼりにされるのである。今後このことについては話あわねばならないが、「結婚問題だけではなく心の問題や障害者の性問題など、すべてを含め相談できるところがあればいい。必要があれば専門家のカウンセラーにお願いしたい」等の意見が

はつらつ健康&福祉フェア '87 KOBE

——フェスピック神戸大会プレイベント——

会期 / 9. 18 (金) ~ 20 (日)

会場 / ワールド記念ホール (ポートアイランド)

主催 / 神戸市・財団法人こうべ市民福祉振興協会・社団法人日本経営協会

協賛 / 1989年フェスピック神戸大会組織委員会

構成 /

福祉ゾーン お年寄り・障害者及び介護者に役立つ商品・サービスがいっぱい!

○自助用・介護用機器・移動用機器

健康ゾーン あなたの健康を増進するすてきな商品・サービスがいっぱい!

○ヘルシー器具・ヘルシーフード・レジャー・スポーツ用品他

ふれあいゾーン

○エアロビクスショー・アクション迷路

お問合せは

(財) こうべ市民福祉振興協会

Tel 251-9554

15年

神樹の会

神樹の会創立以来十五年の間、副会長を務められた堀川静子様が、去る総会に於て相談役になりました。堀川様は牧野友生養護学校長の時、四十七年に神樹の会発足にあたり、吉田初代会長や中島副会長を助け、卓抜した指導力でもって会の基礎づくりに心を注がれました。十五年間、会の重鎮としての貢献を備えた方でもあります。このたび社会福祉法人神戸明輪会の設立が堀川様のビジョン達成ということであり、今後は相談役として後進の指導にあたられることになりました。

和をもつて

H——堀川
宮脇



若かりし頃の牧野先生といっしょに

M——十五年をふりかえらえていちばん心に残っていることは?

H——お母さんの姿です。それに毎年のバザーですね。初期は学校がひとつということもあって小学部も中高部もお母さん方の会に対する気持ちに差がなかつたように思います。「和をもつて」というのが私たちの共通の信念でした。五十二年に六甲作業所、五十四年に垂水作業所と次々とできていくまでの最初の五年間は

「資金づくりのため」の時期でもありました。
M——じつとがまんの子であつたのですね。ただただ感服のいたりです。バザーは年年組織的に整備されて参りましたし、神戸市幼・小・中・高のPTAの協力もあり年毎に盛り上がっていますね。

H——初期の頃は学年とにらわれずに売場に立っていました。学年の区別などなかつたのです。学校全体が一つになつてしていました。

M——細かいとりきめは変わつてきていると思いますが、バザーの精神は受けつがれています。當時元気だったお母さん方も十五年経つと心身共に弱つてきます。「会員の定年制があつてもいいのではないか」となどの意見もでているのですよ。

M——私たちにこれだけは伝えたいと思われることをおっしゃつてください。

H——時代のせいでしょうか、よくお母さんの中には障害者は国や県や市が看るべきだといわれる方がありますが、わが子ですものね。子どもの小さな喜び、微妙な

武繩 喜代一
父親(六十七才)

隣国のエライ人が「中國の女性は天の半分を支えている。」と中国婦人の努力を評価しています。さしずめ重度の障害者をもつ母親は天の優に三分の二を支えているものと思われます。

私は現在、垂水作業所へ家内と交替で子供の介護者として通所しています。母子との共同作業の中に入つてみて、今更ながらお母さん方のご苦労が身にしました。ご主人や兄弟の世話、家事万端の処理、そして

おわりに父と子の願い。よき妻であり、よきお母様方、どうぞ不死鳥のようにいつづまでも若々しく元気でいてほしい。日頃献身的にお世話を下さるお母さま方へ紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

初心にかえつて

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

M——今後の神樹の会のあゆむ方向は? H——会ができる十年目位までは軽度障害者が多かつたのですが、今は重度重複多様化になつてきてるので重度の方々のために考えていかねばならないと思います。重度の方々の療護施設がいるのではなくでしようか。そして最重度の方々のための神樹の会でありますね。どうかお母さんは初心にかえつて「和」をもつて協力しあつていきましょう。

M——神樹の会は軽度の人にとっても、重度の人にとっても「心のよりどころ」としてありつけねばならないと思います。どうもありますがとうございました。

あとがき
神樹の会もひとつのふし目を終え十六年目を迎えています。これからは、次の段階へとそして三大目標に向かってがんばってまいりましょう。

5月 垂水作業所
7月 日生陶芸館へ見学
7月~8月の土曜日4回 夜店に参加
8月 一泊サマーキャンプ垂水作業所にて



日時
十一月九・十日(月・火)
午前十時より午後六時まで
場所
六甲作業所
に参加出店
5月 神戸まつり
さんちかホール
8月 六甲道広場
夜店に参加

東部生活訓練部
4月 海洋博へ見学
7月 奈良今井町飛鳥方面へ見学
須磨パティオ作品展に参加
6月 兵庫県肢体不自由児協会より
ぶたまんの寄贈を受ける。

福祉ショッピングいたやど

西村様退職のため後任として
奥上須磨子様にお願いしています。

幹部会
毎月第一土曜日に幹部会が心障センタ一でもたれています。